

各種メディアで紹介された必見の話題作!

少女が流した
涙の理由は——



香港国際映画祭
審査員賞 受賞

イフラバ国際ドキュメンタリー映画祭
中央東ヨーロッパ
最優秀ドキュメンタリー賞 受賞

DocAviv映画祭
国際コンペティション部門
最優秀監督賞 受賞

サンフランシスコ国際映画祭
最優秀ドキュメンタリー賞
ノミネート

太陽の下で

— 真実の北朝鮮 —

監督・脚本: ヴィタリー・マンスキー 撮影: アレクサンドラ・イヴァノヴァ 編集: アオドレイ・ペバルヌイ 音楽: カリス・アウザンズ プロデューサー: ナタリヤ・マンスカヤ 出演: リ・ジンミ
2015年/チェコ=ロシア=ドイツ=ラトビア=北朝鮮合作/110分/カラー/原題: V paprscích slunce 字幕翻訳: 榎樹連 配給: ハーク taiyouno-shitade.com
RUSSIA - GERMANY - CZECH REPUBLIC - DPRK - LATVIA DIRECTED BY VITALY MANSKIY, DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: ALEXANDRA IVANOVA, CAMERA OPERATOR: MIHAIL GOROBCHUK
LOCATION SOUND RECORDIST AND FIELD INTERPRETER: EVGENIYA LACHINA, EDITED BY ANDREY PAPERNIY MUSIC COMPOSED: KARLIS AUZANS
SOUND DIRECTOR: ANRIJS KREINBERGS COPRODUCERS: SIMONE BAUMANN, FILIP REMUNDA, PRODUCER: NATALYA MANSKAYA
UNDER THE SUN © VERTOV SIA, VERTOV REAL CINEMA OOO, HYPERMARKET FILM S.R.O., ČESKÁ TELEVIZE, SAXONIA ENTERTAINMENT GMBH, MITTELDEUTSCHER RUNDFUNK 2015

ジョージ・オーウエルが描いた
オセアニアは
架空の独裁国家だが、
これはまさしく
リアルな独裁国家だ。
国のフェイクに
映画のフェイクが重なる。
ラストの少女の涙こそがリアルだ。
森達也(ドキュメンタリー監督)



市民の日常を記録したドキュメンタリー それはすべて当局の管理下で演出されたフェイクだった!

정 단 전 위

私たちが見ていた北朝鮮。 それは「演出」された姿だった—



8才のジンミは模範労働者の両親とともに平壤で暮らしている。ジンミは金日成の生誕記念「太陽節」で披露する舞踊の練習に余念がない。エリートの娘を持った両親は仕事仲間から祝福を浴び、まさに“理想の家族”の姿がそこにはあった。ところがドキュメンタリーの撮影とは名ばかりで、“北朝鮮側の監督”のOKが出るまで一家は繰り返し演技させられ、高級な住まいも、親の職業も、クラスメイトとの会話も、すべて北朝鮮が理想の家族のイメージを作り上げるために仕組んだシナリオだった。疑問に感じたスタッフは、撮影の目的を“真実を暴く”ことに切り替えその日から、録画スイッチを入れたままの撮影カメラを放置し、隠し撮りを敢行するが…。

北朝鮮において、“庶民の日常生活”とは？

モスクワ・ドキュメンタリー映画祭の会長も務めるヴィタリー・マンスキー監督は、誰もが知りたい疑問を、誰もが見えるかたちで描きたいと考えていた。北朝鮮政府から撮影許可を得るまで二年間、平壤の一般家庭の密着撮影に一年間。その間、台本は当局によって逐一修正され、撮影したフィルムはすぐさま検閲を受けることを強いられたが、検閲を受ける前にフィルムを外部に持ち出すという危険を冒して本作を完成させた。北朝鮮からの要請でロシア政府は、マンスキー監督への非難声明と本作の上映禁止を発表した。そんな中、韓国、アメリカ、ドイツ、イタリアをはじめ20都市以上で上映された問題作が、ついに日本で公開される。

平壤に行ったことがある。
私たちはずっと監視されていた。
そうでない部分をこの映画は教えてくれる。

勝谷誠彦 (コラムニスト)

虚構の国の中で
ヤラセという事実を提示した時、
真実が浮かび上がる。
北朝鮮よ、
これがドキュメンタリーの底力だ。

松江哲明 (ドキュメンタリー監督)

太陽の下で

— 真実の北朝鮮 —

監督・脚本: ヴィタリー・マンスキー 撮影: アレクサンドラ・イヴァメヴァ 編集: アオドレイ・ペバルヌイ
音楽: カリス・アウザンダ フロチニャー・ナタリヤ・マンスカヤ
出演: リ・ジンミ 2015年/チェコ・ロシア・ドイツ・北朝鮮合作/110分/カラー
原題: V paprscích slunce 字幕翻訳: 崔樹連 配給: ハーク

taiyouno-shitade.com

2017年1月21日[土]公開

★特別鑑賞券発売中! ¥1,500 (税込) (当日一般¥1,800の他)

地下鉄新宿三丁目駅 B2出口より徒歩約1分
シネマト新宿
tel:03-5369-2831

心斎橋アメリカ村 ビッグステップ4階
シネマト心斎橋
tel:06-6282-0815

●月曜日のメンズデイ、水曜日のレディースデイ、TCGメンバーズカード会員サードデイ、ファーストデイ、シネマートデイ(毎月25日)、夫婦50割引など、当日割引もご利用頂けます。
www.cinemart.co.jp